

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 27 年 6 月 11 日現在

機関番号：27101

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2014

課題番号：23520642

研究課題名(和文)ジェンダーの視点から日本語教科書を再考する：社会変化を反映した教科書開発

研究課題名(英文)Reconsidering Japanese Language Textbooks from the Viewpoint of Gender: Textbook Development that Reflects the Social Changes

## 研究代表者

水本 光美 (MIZUMOTO, TERUMI)

北九州市立大学・基盤教育センター・教授

研究者番号：80326462

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,900,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、20代から50代までの女性標準語話者の自然会話を収集し、その中の文末に現れる女ことば(女性文末詞)の比率を確認し日本語教科書と比較した。その結果、教科書の若い世代の女性登場人物は同世代の自然会話の5倍から15倍と過剰使用していることを確認した。また、日本語教科書の中の日本女性像、家庭内や職場の女性、女性の職業、家族像などに関して詳細なデータをとり、政府による現代社会の実情の調査結果データと比較した結果、教科書は約30年前のジェンダー意識に捕らわれていることをデータで実証した。日本内外の日本語教育者へのアンケート調査も実施し、今後の教科書のあり方を考察、その具体案も提案した。

研究成果の概要(英文)：In this research I performed analyses of the statistical survey results concerning the average use ratio of female sentence-final particles (FSFP) in the casual conversations by female standard Japanese speakers of the four generations from 20s to 50s, and confirmed that young women no longer used them, except for jokes. However, the survey results from the comparative studies of the conversations by young women in Japanese textbooks showed that the textbooks excessively used FSFP. Another comparative analysis revealed that the images of Japanese women at home and workplaces, women's occupations, and Japanese family forms in the textbooks did not portray the current Japanese society but depicted the conventional stereotypes of 30 years ago obsessed by gender ideology. Conducting international questionnaire surveys involved in Japanese language education, I analyzed the teachers' consciousness of gendered images in the textbooks, and suggested some ideas for gender-equal textbooks.

研究分野：日本語教育、社会言語学、ジェンダー

キーワード：日本語教科書 ジェンダー 女ことば 日本女性像 性別役割 日本の家族像 教材検証 教材開発

## 1. 研究開始当初の背景

日本語学習者は、日本語教科書および関連教材を通して日本社会に関する知識を得ることが多い。ことに、海外で学習する者にとっては日本語教材の影響は強く、教材に扱われる言語表現や日本事情などを積極的に吸収することにより自らの「日本像」を構築する。彼らにとっては、日本語の教科書が初めて日本を知る重要な媒体であり、その影響力は大きい。

しかし、現在、世界で多数の学習者に使用されている日本語教材の多くは、現代日本社会の姿を適切に反映したものだとは言いがたい。殊に、日本語教材によって伝えられる女性像とその言語使用状態(女性文末詞使用)は、30年以上前の姿に止まっており、教科書と現在の日本社会との不自然な隔たりは、現在の日本を理解する上でも学習者の誤解を招く。

日本語教科書における女性像に関する社会学的研究は、これまでも少数ながらもなされてきたが、確固たるデータで検証されていないため大方の傾向しか報告されていない。また、教科書等に現れる日本女性像も昔ながらのイメージが引き継がれており、現在の若い世代の女性像は適切に描かれていない。ジェンダーの視点からみると修正すべきであるという研究も少数ながらもある。しかし、この点においても確固たるデータ検証はなされていない。また、このような傾向に関して警鐘をならしているが、現実的に、どのような表現が適切であるか、その具体案に関する研究は皆無である。さらに、たとえ教科書が改訂されても、その改訂項目の一つとしてジェンダーの視点は考慮されていないというのが研究開始当初の実情である。

## 2. 研究の目的

本研究は、日本語教材をジェンダーの視点より言語学的、社会的に検証し、現在の日本社会を正しく伝え、かつ変化しつつある日本社会をも世界へ発信できる教材のあり方を考察し、さらに、その一案を提案するものである。

### (1) 研究目的1：言語学的データ収集と比較分析

本研究では、現在、日本語教育において広く使用されている日本語教科書をはじめとする教材について、言語学的および社会的に「ジェンダー」の観点からデータを収集、その特徴を観察し、現在の社会を適切に反映した内容であるか否か、また、していない場合は、どの点がなぜ実社会にそぐわないのかを明らかにすることを十分なデータにより検証することを目的とする。

まず、言語学的には、日本語の女ことばの代表格である「女性文末詞」の使用状況に焦

点をあて、日本語教材のなかで、どの程度使用されているかを調査し、「若い女性」と設定されている教科書中の登場人物の女性文末詞使用状況を詳細にデータ分析する。その調査結果を、現在の同世代の女性標準語話者による自然会話と比較分析し、日本語教材の問題点を探る。

### (2) 研究目的2：社会学的データ収集と比較分析

次に、社会的には、教科書中の女性に与えられた役割、家庭や社会の中での言動、さらに、場面設定、イラストなどにも焦点をあて、それらの客観的データによる調査結果を、現代社会における若い世代の女性達に関するデータと比較分析する。さらに、実社会と日本語教材の比較分析により、現代社会を反映していないと考えられる問題点を考察する。

### (3) 研究目的3：現代日本社会と将来へ向かって進む日本社会を正しく伝える教科書製作の一案

最後に、ジェンダーの視点から、現代社会の日本女性像とその現実的な言語使用を正しく反映し、かつ、将来への動向も見据えた教科書作成の一案を試みる。

## 3. 研究の方法

(1) 現代社会の20代から50代の女性標準語話者におけるカジュアルな普通体による自然会話収集と女性文末詞の使用状況分析：

各世代12名ずつ合計48名の会話における女性文末詞使用率と使用状況の特性を分析し、(男女文末詞の二項対立表による)その特徴を見極めた。さらに自己主張をしたり感情的になったりする状況設定のロールプレイ会話を4世代収集し、現代の女性たちが実際にそのような場面で女性文末詞を使用するかどうか実証実験し結果を分析した。また、20代女性の会話分析を10名分追加し、20代女性らが自己主張をしたり感情的になったりした場合の文末表現の特徴をさらに詳細に分析した。

(2) 日本語教材における女性文末詞の使用状況の分析：

1990年代前半から2011年までに出版された日本国内でよく使用されている初級・中級の日本語教科書16種、2004年から2013年までの日本語試験問題(聴解)28種、2010年から2012年までの試験問題対策本(聴解)8種、1998年から2004年までの聴解練習問題集8種など、合計52種の教材のなかで、若い(20代と30代)女性登場人物の普通体によるカジュアル会話(いわゆる“タメロ”)を自然会話と同じ分析法で分析し、その使用率を観察した。

(3) (1)と(2)を比較分析し相違点を明らかにした上で、日本語教材の問題点を分析した。

(4) 初級・中級の日本語教科書 16 種におけるイラストによって描かれる日本女性像（職場の女性、家庭の女性）の特徴を分析し、それを現代社会の最新データと比較分析した。

(5) 女性の職業、仕事場や家庭における女性の役割、家族像などについて日本語教科書のデータと現代の実情を報告する政府による最新データを比較分析した。

(6) 日本、韓国、欧州に在住する日本語教育関係者ら計 200 名にアンケート調査を実施し、教育者が日本語教材のなかのジェンダーをどのように考え、取り扱っているかを分析した。

(7) 以上の分析結果により日本語教科書の問題点を明らかにした上で、今後期待される教科書のあり方をジェンダーの視点より考察し提案した。

#### 4. 研究成果

(1) 自然会話のデータ分析結果より、次のことを明らかにした。

①現代の標準語女性話者は、50 代以上を除き女性文末詞は殆ど使用しない。特に 20 代 30 代においては、ほぼ消滅している。(図 1)

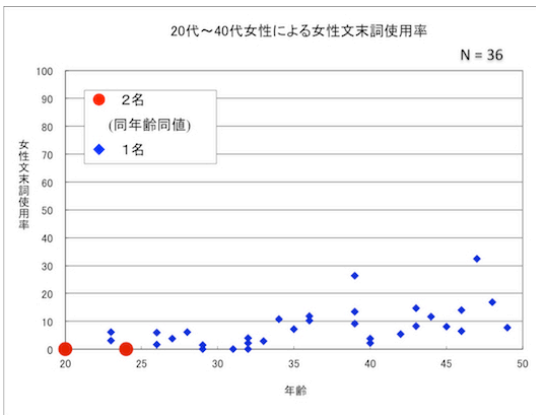


図 1 20 代～40 代女性標準語話者による女性文末詞使用率

②主張度の高い文脈（自己主張や感情的）において女性文末詞の使用率を観察するためのロールプレイ結果より、20 代から 50 代の 4 世代の差は歴然であり、40 代以下は 50 代と比較して極端に減少し皆無に近い。(図 2)

③20 代女性標準語話者 22 名のロールプレイによる実験結果より、高主張度の文脈において実際には女性文末詞ではなく従来の男性文末詞やそれに変わる文末表現を用いている。(図 3)

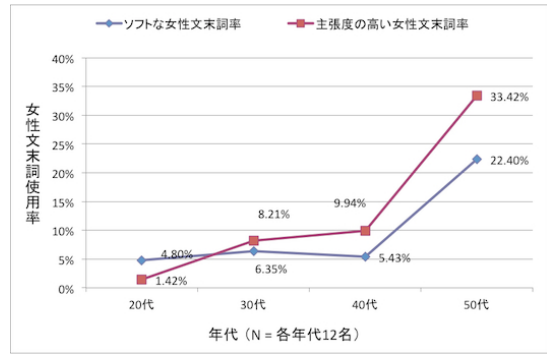


図 2 主張度の強い文脈における 20 代～50 代の 4 世代の女性文末詞使用率変遷

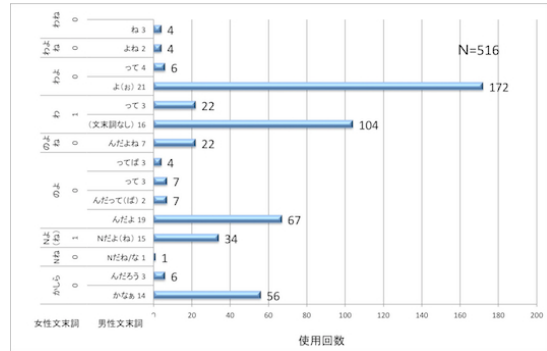


図 3 主張度の強い文脈において 20 代女性が実際に使用した文末表現

(2) 日本語教科書をはじめとする日本語教材のデータ分析より、次のことを明らかにし、それらによって描写される日本女性像が 30 年以上以前のステレオタイプのイメージを引き継いでいることを確認した。

①日本語教材における 20 代および 30 代の女性登場人物による女性文末詞使用率の分析結果より、自然会話の 7 倍から 15 倍の女性文末詞を過剰使用している。(図 4) 即ち、若い世代の女性も女性文末詞を使用していた 80 年代前半頃までのステレオタイプが日本語教材の中には未だに積極的に継承されている。

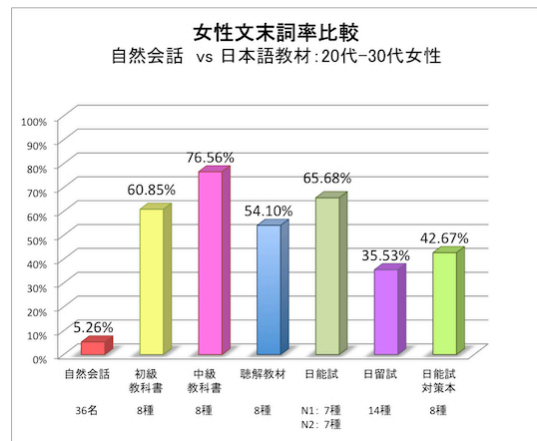
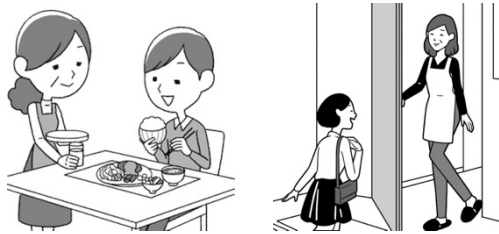
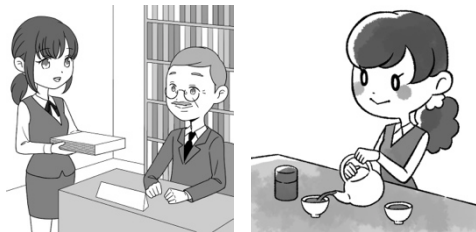


図 4 自然会話と日本語教材における女性文末詞使用率の比較

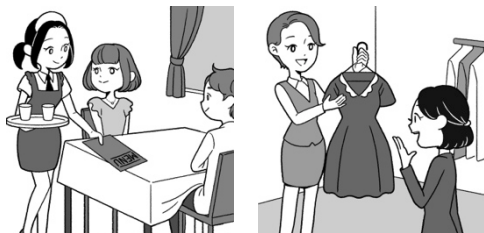
②日本語教科書のイラストに描写されている日本女性像は、最新の政府による調査データと比較して 30 年ほど前の姿である。すなわち、家庭内の女性は「母」「妻」として家庭にとどまる「専業主婦」として描かれ(挿絵 1,2)、職場の女性は若い「一般職」の女性として、受付、お茶くみ、コピー、電話取り次ぎなどの男性総合職の補助的役割がイラスト(挿絵 3,4)で強調されている。女性の職業は、サービス業が主で(挿絵 5,6)教師や医師などの知的職業の大半は男性が描かれている。(挿絵 7,8)



挿絵 1, 2 家事に専念する家の中の専業主婦



挿絵 3, 4 補助的役割の職場の若い一般職女性



挿絵 5, 6 サービス業に従事する女性



挿絵 7, 8 男性医師と男性教授

③日本語教科書の中に登場する家庭の女性の半数が専業主婦であり、働く妻は 18%、残る不明の半数が共働きであると推定しても、全体の約 70%近くが専業主婦である。  
④職場の女性はその 25%が一般職の事務系であり、受付や案内としての役割を含めると約半数が仕事場では補助的な役割を担っている。教科書に登場する管理職は男性が占めており、主なキャラクターとして積極的に扱われている女性管理職はわずか 1 種の教科書のみである。

⑤女性の職業では、上位 6 位までは教師以外はすべてサービス業であり全体の 60%を占めている。一方、男性の職業としては教師、医師、公務員など知的職業が上位を占めている。

(3) (2) の日本語教科書のデータを政府レベルによる現代日本社会の実情調査最新結果と比較分析し次の点を明らかにした。

①現代社会では、家庭にとどまる専業主婦は 41%、共働き世帯は 59%であり、教科書の中の専業主婦(約 70%)と働く妻(18%)は実社会の約 30 年以上前の姿を描写し続けている。

②職場での女性に関しては、教科書に女性の職業として最も多く描かれている販売従事者やサービス業従事者は、実際にはそれぞれ 20%程度であり、現実的には教科書ほど多くはない。

③女性の職種として教科書で多数描写される一般職の事務従事者も、平成 26 年には 32%ほどに減少しており、逆に専門職・技術職は 37%と増加している。また教科書に印象づけられている若い女性の一般職は、平成 20 年のリーマンショックから激減し、22 年に一般職として就職したのは約 23%へ、逆に総合職として就職したのは 73%へと急増している。

これらの現代社会の実情と比較して、教科書に描写され続ける職場の女性像は、一般職のいわゆる OL という姿で若い女性に代表されている。これはジェンダー・イデオロギーに賛同し性別役割分担を奨励していると受け取られる可能性がある。

④教科書が強調する男性優位の医療と教育分野は、現状を反映していない。まず、現状では、医療福祉分野では 75%以上が女性、58%が女性の技術・専門職従事者である。(図 5)

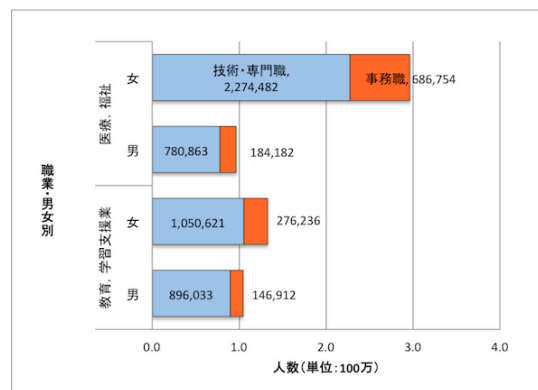


図 5 医療・教育分野の男女就業者数

また、看護師以外は、薬剤師の 61%、皮膚科医師の 51%以上が女性であり、小児科、眼科、産産婦人科の 3 領域では 35%から 40%程を女性が占めており、ことに近年は小児科と産婦人科は女性医師が急増している。さらに歯科医は年齢が若い程、女性の割合が増加しており、平成 24 年の政府データでは 29 歳以下の女性医師が 42%に急増している。(図 6)

したがって、少なくとも今後の教科書には従



来型の男性医師が極端にクローズアップされた描写は適切ではない。

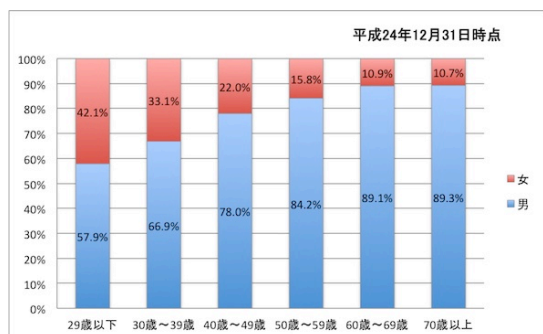


図6 年齢階級別にみた歯科医師の性別構成割合

教育分野においては、大学での教授職の女性比率は約14%と低いですが、短期大学での准教授以下は女性が半数以上を占めている。高等、中等、初等の教育機関では女性教員の比率のほうが高く、ことに小学校では3分の2近くを占める。(図7) 従って、男性教員で占められる教科書は、現代日本社会の学校教育分野でも実社会を反映しているとは言い難い。

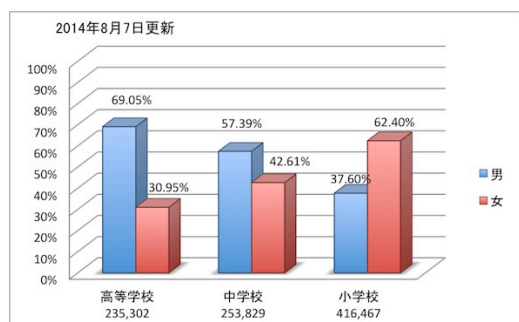


図7 高等、中等、初等教育機関の教員数男女比率

(4) 日本語教育関係者200名(日本、韓国、欧州)対象に2010年に実施したアンケート方式意識調査の結果より、次のことを明らかにした。

①「現代日本社会の若い世代の女性標準話者はもはや女性文末詞を使用していない」という事実は91%が認識しているが、教科書に男女別の文末詞をパターン化して導入することに関しては、85%が必要であると考えている。理由としては、54%が「小説、アニメ、ドラマ、映画などで多数使用されており、その理解のため」「年配の年代がまだ使用しているため」「理解言語として必要知識」など。

一方、パターン化導入の必要性がないとする15%の理由は「実際に使用されていない」「実情に合わない」などであり、マンガや映画などで文末詞の男女差が強調されていることを認識し理解言語としての必要性は認めながらも「積極的な会話モデルとしては実情を反映したニュートラル表現で充分」としている。

②教科書の中の若い女性登場人物が現実ではもはや使用されていない女性文末詞を積

極的に使用するダイアログを提示することは3分の2以上が回避すべきだと考え、より現状に即した自然な言語使用を求めている。

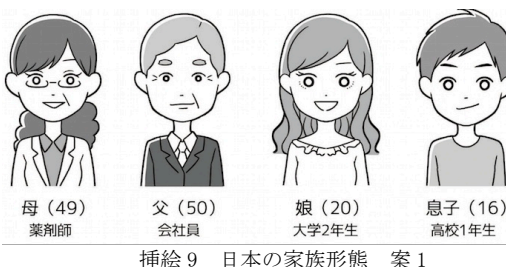
③教科書で専業主婦が既婚女性の典型として描写されていることに関しては約95%が違和感を覚えており、現代社会では様々な職業に従事しているという現状を反映すべきであると考えている。

④日本の家族形態に関して、約97%が「共働き」、約64%が「単身」を教科書に反映すべきだと考えている。

⑤65%近くがジェンダーの問題点に関して考慮した教科書が必要であると考え、不必要と答えたのは一人だけであった。35%は教科書のジェンダーの問題点を認識しつつ教師が独自の方法で個別対処すればよいとしている。

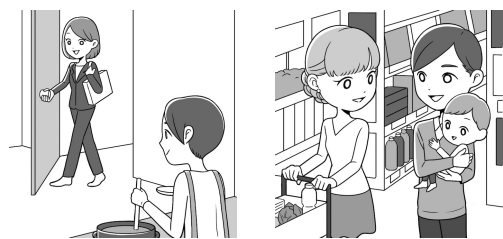
(5) (1)から(4)の研究成果から、今後の日本語教科書の方向性への提案を試みた。

- ①若い(少なくとも20代、30代)女性登場人物の文末には女性文末詞を用いず、主に従来の男性文末詞を用いる。
- ②感情的な主張度の高い文脈においてもしかり。
- ③現状でも女性文末詞を使用している高齢の女性登場人物には女性文末詞を用いることもあり得る。
- ④文学、マンガ、古い時代背景の映画などを理解するために理解言語として女性文末詞を学ばせることは必要。
- ⑤教科書において男女の言葉づかいの違いを対比的に紹介することはあっても、なお、現代の実社会においては若い世代の女性は女性文末詞を用いず、むしろ従来の男性文末詞を中性化して用いる現実を説明する必要がある。
- ⑥従来のジェンダー・イデオロギー的構図から脱し、今後の教科書には「共働き」「技術的専門職」に従事する女性の描写が必至。具体的には、教育に従事する女性や薬剤師、看護師、小児科、産婦人科、眼科、歯科などの女性医師も積極的に登場させることにより、現代および近い将来の日本社会を反映したあり方である。
- ⑦家族形態としては、母がフルタイムで働く共働き家庭(挿絵9) 高齢化を反映して夫婦二人の高齢者家庭、高齢女性の単独家庭、一人暮らしの学生や勤め人の単身世帯も登場させ、教科書のイラストにも現代社会の実情を



反映させる。

⑧今後の教科書では女性は家庭のなかで家族を支える役割に終始せず、外で働く女性を登場させるならば、仕事から帰宅した妻を迎える夫や子どもを抱いて妻と共に買い物をする夫の姿も見せたい。(挿絵 10, 11)



挿絵 10, 11 日本の家族形態 案 2, 3

⑨職場においては、教科書が描く男性上司のもとで若い男性総合職、若い女性一般職という従来型構図に始終することは排し、今後は、女性上司のもとで若い女性も総合職として働く構図が必要である。(挿絵 12)

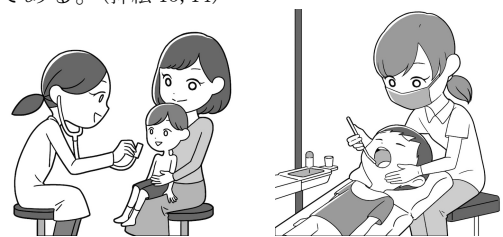
<職場の人々>



挿絵 12 日本の職場のひとつと 案

⑩教科書のような男性ばかりの職場ではなく、女性も男性と同等な仕事をする会議場面や、女性上司が部下男性に指示をする場面など、イラストを含め必要である。

⑪今後の教科書に登場させる女性の職業としては、若い学習者の日常生活においてニーズの多い教師、医師（内科、小児科、歯科など）であり、内科は実社会のデータより男性に譲るとしても小児科と歯科は若い女性医師を登場させイラストでも描くことが必要である。(挿絵 13, 14)



挿絵 13, 14 女性の職業 案：小児科医と歯科医

## 5. 主な発表論文等

[雑誌論文] (計 5 件)

- ① Terumi Mizumoto, Gender in Japanese Textbooks: Modern Society and Teachers'

Awareness, Proceedings of Magyar Japan Szimpozium, Budapest Business School, 査読あり, 2013, 5-14.

- ② 水本光美, 日本語教科書におけるジェンダー：教科書の日本女性像は現代社会の実態を伝えているか, Language and Conceptual World View, Vol. 45, 査読有り, 2013, 153-159.
- ③ 水本光美, 日本語教科書に於ける女性の職業：教科書分析と日本語教師の意識調査分析, 基盤教育センター紀要 第 16 号, 査読なし, 2013, 19-44.
- ④ 水本光美, 日本語教科書におけるジェンダー：女性文末詞の使用と日本人女性の描写, ヨーロッパ日本語教育 第 16 号, 査読有り, 2012, 131-135.
- ⑤ 水本光美, 日本語教科書における日本女性像：家庭内の女性と職場の女性のステレオタイプ, 基盤教育センター紀要 第 12 号, 査読なし, 2012, 1-20.

[学会発表] (計 5 件)

- ① 水本光美, 現代の日本社会を反映した日本語教科書：ジェンダーの視点より提案する, シドニー日本語教育交際研究大会2014, シドニー工科大学, オーストラリア, 2014年 7月 11日.
- ② 水本光美, 日本語教科書におけるジェンダー：現代社会の実情と教える側の認識, Magyar Japan Szimpozium, Budapest Business School, Budapest, November 8, 2013.
- ③ 水本光美, 日本語教科書におけるジェンダー：教科書の日本女性像は現代社会の実態を伝えているか, The 5<sup>th</sup> Ukraine International Conference, Teras Shievchenko National University of Kyiv, Ukraine, March 22, 2013.
- ④ 水本光美, 日本語教科書におけるジェンダーを考える：女性文末詞と日本女性像, 九州OPI研究会, 九州大学西新プラザ, 2013年 2月 9日.
- ⑤ Terumi Mizumoto, Gender and Japanese Language Textbooks: Use of Feminine Sentence-Final Particles and Descriptions of Japanese Women's Lifestyle, The 13th International Conference of European Association for Japanese Studies, University of Tallinn, Estonia, August 26, 2011.

[図書] (計 1 件)

水本光美, ジェンダーから見た日本語教科書：日本女性像の昨日・今日・明日, 大学教育出版, 177 頁, 2015 年 4 月.

## 6. 研究組織

(1) 研究代表者

水本 光美 (MIZUMOTO, Terumi)

北九州市立大学・基盤教育センター・教授  
研究者番号：80326462